

■コンピューター・ミュージック科 講師資格認定オーディション【実技課題】◀2022年4月～2023年3月▶

掲載の指定課題の該当期間は、2022年4月～2023年3月です。

指定課題曲の選択ミスなどは「不合格」となりますので、お間違いのないようご確認の上、受験に臨んでください。

2019年度より使用ソフトを「ABILITY」に変更しておりますのでご注意ください。

◀注意事項▶

- 実技課題（作品提出）の制作は、下記「使用機材」の条件を満たしたものをご使用ください。
また、試験当日実施するミュージックデータの作成の際も、下記「使用機材」と同様のものをお使いいただけます。
- 【使用機材】 ● Windows パソコン ● ABILITYシリーズ
- ※試験会場で使用するABILITYのバージョンについては、必ず事前に会場へお問い合わせください。

課題/ランク	Basic	Advanced
	以下の指定のフォーマットで作品を事前に作成し、当日提出。(2作品) 1作品につき2種類のファイル形式、合計4種類のファイルの提出が必要です。 ●スコア課題/アレンジ課題 cm2022-reg_Ba_2.pdf (494KB) ●データ・インフォメーション datainfo.pdf (136KB)	以下の指定のフォーマットで作品を事前に作成し、当日提出。(2作品) 1作品につき2種類のファイル形式、合計4種類のファイルの提出が必要です。 ●モチーフ課題/アレンジ課題 cm2022-reg_Ad_2.pdf (367KB) ●データ・インフォメーション datainfo.pdf (136KB)
	スコア課題 5パート程度のスコア課題を譜面どおりに入力。ただしアーティキュレーションや音色設定は任意。 ●入力方法はステップ入力に限ります。	モチーフ課題 2～4小節のコード付きモチーフ課題より、24～32小節程度のメロディーを作曲し、3コーラス（5パート程度）にアレンジした作品を制作。 ●入力方法は任意 ●ABILITYシリーズに付属するプラグイン・シンセから選んで使用してください。 ※いずれもプリセット音色を使用してください。プラグイン・エフェクトによる音色加工等は自由です。 ●使用するプラグイン・シンセは任意ですが「Hyper Canvas」または「INVSC」以外のプラグインシンセを使用する場合はフリーズ処理を行ってください。 ●必ずリズムパート（ドラム/パーカッションなど）を使用してください。 ●作成するデータには、ABILITY付属のアレンジデータや、プラグインシンセ付属のMIDIパターンなどは使用しないでください。
	ファイル形式 (1) SMF形式準拠の楽曲データ (*.mid) ※こちらのデータでセットアップ情報の有無をチェックします。 (2) 「Hyper Canvas」または「INVSC」で再生できるように設定されたABILITYシリーズのファイル形式による楽曲データ	ファイル形式 (1) ミックスダウンされたWAVデータ (*.wav) ※ ※フォーマット：サンプリング周波数 44.1kHz ビットレート 16bit・ステレオ (2) ABILITYシリーズのファイル形式とそのファイルに関連するAudioフォルダ
◀提出課題▶ 作品	アレンジ課題 コード付き2段譜の課題を、2～3コーラス程度（5パート程度）にアレンジした作品を作成。 ●入力方法は任意 ●1パート以上マイクを使って録音したオーディオ素材の使用が必須です。 ●ABILITYシリーズに付属するプラグイン・シンセから選んで使用してください。 ※いずれもプリセット音色を使用してください。プラグイン・エフェクトによる音色加工等は自由です。 ●使用するプラグイン・シンセは任意ですが「Hyper Canvas」または「INVSC」以外のプラグインシンセを使用する場合はフリーズ処理を行ってください。 ●必ずリズムパート（ドラム/パーカッションなど）を使用してください。 ●作成するデータには、ABILITY付属のアレンジデータや、プラグインシンセ付属のMIDIパターンなどは使用しないでください。	アレンジ課題 指定された数種類のコード付き2段譜の課題を組み合わせて、2～3コーラス程度（5パート程度）にアレンジした作品を作成。 ●入力方法は任意 ●ABILITYシリーズに付属するプラグイン・シンセから選んで使用してください。 ※いずれもプリセット音色を使用してください。プラグイン・エフェクトによる音色加工等は自由です。 ●「Hyper Canvas」または「INVSC」以外の異なるソフトシンセを1つ以上使用してください。 ●「Hyper Canvas」または「INVSC」以外のプラグインシンセを使用する場合は必ずフリーズ処理を行ってください。 ●必ずリズムパート（ドラム/パーカッションなど）を使用してください。 ●作成するデータには、ABILITY付属のアレンジデータや、プラグインシンセ付属のMIDIパターンなどは使用しないでください。
	ファイル形式 (1) ABILITYシリーズのファイル形式とそのファイルに関連するAudioフォルダ (2) ミックスダウンされたWAVデータ (*.wav) ※ ※フォーマット：サンプリング周波数 44.1kHz ビットレート 16bit・ステレオ	ファイル形式 (1) ABILITYシリーズのファイル形式とそのファイルに関連するAudioフォルダ (2) ミックスダウンされたWAVデータ (*.wav) ※ ※フォーマット：サンプリング周波数 44.1kHz ビットレート 16bit・ステレオ
	◀提出物▶ ■作品をCD-RまたはDVD-Rにデータ形式にて収録したもの ●盤面に氏名とファイル名を必ずご記入ください。 ●ご提出いただくCD-RまたはDVD-Rは1枚ですが、バックアップ・ディスクもあわせてご持参ください。 ●作品の提出後、著作権はローランド株式会社に帰属します。ご了承ください。 ■データ・インフォメーション（スコア課題用/アレンジ課題用 計2枚） ●記入方法は自由ですが、データの概要がわかるように、曲中で使用している情報についてご記入ください。 ※提出物のご返却は一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。	◀提出物▶ ■作品をCD-RまたはDVD-Rにデータ形式にて収録したもの ●盤面に氏名とファイル名を必ずご記入ください。 ●ご提出いただくCD-RまたはDVD-Rは1枚ですが、バックアップ・ディスクもあわせてご持参ください。 ●作品の提出後、著作権はローランド株式会社に帰属します。ご了承ください。 ■データ・インフォメーション（モチーフ課題用/アレンジ課題用 計2枚） ●記入方法は自由ですが、データの概要がわかるように、曲中で使用している情報についてご記入ください。 ※提出物のご返却は一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
口頭試問 (20分)	実際のレッスンを想定した口頭試問のほか、提出作品を試聴するとともに、作品の内容についての質問にお答えいただけます。	実際のレッスンを想定した口頭試問のほか、提出作品を試聴するとともに、作品の内容についての質問にお答えいただけます。

★次ページも必ずご確認ください ⇒

【実技課題 続き】

課題/ランク	Basic	Advanced
ミュージックデータ作成 (30分)	<p>作品提出で用いたスコア課題より抜粋した4小節のスコアを規定の時間内にステップ入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力用MIDIキーボードの使用不可 • 試験時に配布するスコアを参照し入力していただきます。 • INVSC (ABILITY付属のプラグイン・シンセ) を使用します。 • グループごとに実施します。 • 受験者1名につき1台のパソコンを用意します。入力はヘッドホンを使用し、ソフトウェアがすでに立ち上がっている状態でグループ全員同時に試験を開始します。 • * MIDIトラックは16トラックで各トラックのMIDI出力はINVSC (ABILITY付属のプラグイン・シンセ) へ設定済みです。 • 試験会場内への資料の持ち込みはできませんのでご注意ください。 	<p>4小節 (5パート) のスコアを規定の時間内に入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力方法は任意 (入力用MIDIキーボードの使用可) • 試験時に配布するスコアを参照し入力していただきます。 • INVSC (ABILITY付属のプラグイン・シンセ) を使用します。 • グループごとに実施します。 • 受験者1名につき1台のパソコンを用意します。入力はヘッドホンを使用し、ソフトウェアがすでに立ち上がっている状態でグループ全員同時に試験を開始します。 • * MIDIトラックは16トラックで各トラックのMIDI出力はINVSC (ABILITY付属のプラグイン・シンセ) へ設定済みです。 • 試験会場内への資料の持ち込みはできませんのでご注意ください。

■コンピューター・ミュージック科 講師資格認定オーディション【筆記課題】

掲載の課題の該当期間は、2022年4月～2023年3月です。

【筆記課題】

課題/ランク	Basic	Advanced
聴音	<p>(30分)</p> <p>16小節5パートのアンサンブル演奏を聴き、空白部分を埋める (記述式)</p>	<p>(30分)</p> <p>16小節5パートのアンサンブル演奏を聴き、空白部分を埋める (記述式)</p>
専門知識	<p>(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーディオを含むミュージックデータ制作の基礎知識 • シミュレーションテクニックの知識 • 映像編集の基礎知識 • MIDI/USBなどの規格、使用上の注意 • OS (MS-DOS/Windows) や周辺機器の知識 • 指導法/専門用語の説明 	<p>(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーディオを含むミュージックデータ制作の応用知識 • オーディオのファイルの規格 • 映像編集の基礎知識 • MIDI/USBなどの規格、使用上の注意 • パソコン/電子楽器全般の知識 • 指導法/専門用語の説明
音楽理論	<p>(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 記譜方法 (正しい楽譜の書き方) • 演奏順 (リピート記号) • コードネーム • スケール • トゥー・ファイブ • 楽典 • 理論 (○×で解答) 	<p>(60分)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 記譜方法 (移調楽器) • 楽典 • コード理論 (スケール) • アレンジ (提示したメロディーに対してアレンジを施しスコア作成)
≪提出課題≫ 小論文	<p>以下の課題① ② ③の中よりテーマを1つ選び、800字程度の論文を事前に作成し、当日受付に提出</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指定の小論文提出用紙をダウンロードしてご利用ください。 <p>① CM科の講師を目指した動機 ② CM科でどのような指導を行なっていきたいか ③ CM科の講師に求められるもの</p> <p>小論文提出用紙 : ronbun.pdf (52KB)</p>	<p>以下の課題① ② ③の中よりテーマを1つ選び、800字程度の論文を事前に作成し、当日受付に提出</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指定の小論文提出用紙をダウンロードしてご利用ください。 <p>① 作曲などの学習にDTMを用いることのメリット ② ピアノやオルガンなど楽器演奏の指導とCM科の指導で異なる点 ③ 映像と音楽の融合で広がる音楽表現の世界</p> <p>小論文提出用紙 : ronbun.pdf (52KB)</p>